

56年度 神戸市少年指導者講習会終了 延べ142人の公認指導者誕生

『自分のために、チビっ子達のために』がモットーの56年度神戸市少年指導者講習会は5月29日開講、6ヶ月にわたる15回の講習を終え10月16日閉講した。

受講生は過去最高の71人(うち女性9人)が申しこんだが、毎週1回、午後6時半から9時までの日程はさすがにきびしく、22人が脱落した。修了者49人のうち新規受講生29人(うち女性7人)が修了証を手渡されこれまでの総修了者は7年前の第1回目から数えて142人に達した。

この講習会の特徴は何年経てもよい事で今年も32人が再受講者。彼らは余裕をみせながらある時はまじめな受講生、そしてある時は先輩として初めて受講している人にアドバイスして受講生同士のつながりに役立っているのはありがたい。

今年も実技面での向上は著しく、前期は基本的なボールコントロールを中心に、後期は2対1、2対2などのグループ戦術練習を行い大きな成果をあげた。講義はサッカーの歴史、組織、よい試合のために、救急法、作戦から戦術にわたって広く説明されたが、審判法については岩崎壮光氏(市神戸工高)の講義

を受け51人が4級審判の認定を受けた。新しい試みとしては受講生が講師となる「講義の実習」を設け、所属クラブの紹介、及びテーマにそって5分間の講義を行ったが大変好評だった。

閉講式を兼ねたパーティーでは修了証の授与、まじめに受講した人(精勤賞)19人と特別賞として夫婦で受講したひよどり台の浅野夫妻に記念品が贈られた。パーティーは和やかに時のたつのも忘れ、受講の思い出を語りまた足技よりうまいノドを披露する人も。

最後に黒田和生講師は「石に火あり、打たずんば出ず」という言葉でしめくくり、子供達の中に秘められた可能性を引きだすのは、指導者の役割と強調した。

また、開講中何かとアドバイスを与えてくれた一北四郎理事長は「指導者の縦のつながりと横のつながり」を強調していたが、その点をふまえ、修了者が142人にも達した今、さらに大きな力になって少年サッカーの拡充に奉仕する目的で修了者によるサークルを結成することを考えている。

修了者の今後の活躍に期待したい。(ク)

出来、手の不自由も少しずつ良くなってきたような気がします。

さて、今年5月29日の講習会よりサッカーを始めたのですが、球技はほとんど経験がなく、ボールを自分の自由にできないことの難しさに驚き、やり始めて見ると、難しさの中に楽しさ、おもしろさが出てきて「次回はいつだろう」と待たしい日々でした。机の上での勉強も手の不自由なのを忘れ筆記しました。

今後少年サッカーの指導を体の動かなくなるまでやりたくと思っています。楽しい講習会でした。

～〇～〇～

三好先生より進められ気の若い主人はすぐその気になり参加しましたが、仕事の調節、体のことでつらい時があったと思います。

講習会での耳なれない言葉がたくさん出てきて寝間に入ってルール・ブックを開き、勉強している時もあり、Tシャツ、半ズボンと勇ましい泥のついた姿で帰宅した時は不安を感じたこともありましたが無事にすんで良かったとほっとしております。

これからも無理をしないようにがんばってほしいと思っています。(代筆 植永内)

〈56年度修了者〉〇印は精勤者

①浅野篤江、2伊東章、③石橋武夫、④衣川勲、5作本孝義、6谷口弘市、7中津武良、8中村敬次郎、⑨矢吹三枝子、10山下勝子、(以上ひよどり台) ⑪市川博彬(神陵台)、⑫植永剛生(鴨越) 13大前善弘、14福嶋義史(以上蓮池) 15加藤雅之、16清水環、17中尾純子(以上神戸FC) 18熊岡光悦(滝川中) 19小泉裕子(YMCA) 20齊藤隆(無所属) 21竹長潤、22吉田伸之(以上甲山FC) 23藤村正之、②空敬子(以上多井畑) ⑤福井元成(桜の宮) 26堀江大陸、⑦中山裕之、⑧大谷五三六(以上八多) ⑨山崎義明(みさきFC) 〈再受講修了者〉〇印は精勤者

1 浅野正倫、②大前満夫、③窪国忠、4花木武、5松井宏貴、6森 修(以上ひよどり台) 7岡野和晃(上野中)、8加藤均、9宮本進次、⑩水野正行(以上多井畑) 11黒木唯一 12正橋達男(桜の宮) 13谷川壮一、14宮本十郎、15村田文夫(以上高倉台) ⑬富士信男、⑭前田博子、⑮留田正彦(以上神戸FC) ⑯村上恒男(灘中) 20鳴瀬良一(大協)

お知らせ

神戸市社会人リーグ・カップ参加チーム募集
○大会期間 57年1月中旬～3月末
○申込方法 11月末までにハガキにて協会事務所に下記事項記入の上申し込む。(11月30日消印有効)
○記入事項 ①チーム名②連絡者名③同自宅電話④同勤務先電話
○参加資格 市社会人リーグ登録チーム
○抽選 12月17日、社会人運営会議にて

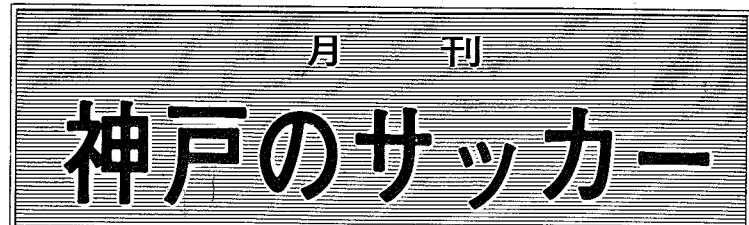
個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



PEPSI logo text



1981 11月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 〇 (078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 〇 (078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

第3回 神戸兵庫ライオンズ杯

東灘A(Ⅰ部)、多井畑(Ⅱ部)初優勝

八多(Ⅲ部)二年連続 二度目の優勝



Ⅰ部優勝 東灘サッカースポーツ少年団A



Ⅱ部優勝 多井畑サッカースポーツ少年団D



Ⅲ部優勝 八多サッカークラブ女子A

神戸兵庫ライオンズクラブが後援する第3回神戸兵庫ライオンズ杯少年大会は9月6日から御崎少年サッカー場で開幕され、Ⅰ部(小6以下)37チーム、Ⅱ部(小4以下)16チーム、Ⅲ部(女子)17チーム計70チームが参加した。

最終日の10月18日は好天に恵まれ、各部決勝戦が行われた。その結果、Ⅰ部は東灘Aが、Ⅱ部は多井畑Dが初優勝、Ⅲ部は八多Aが二年連続二度目の優勝を果たした。

閉会式では、後援のライオンズクラブ会長和中克忠氏から各優勝、準優勝チームにあこがれの大きなカップが贈られ、小さな戦士たちも喜びを隠しきれず、白い歯がこぼれおちそうだった。

なお、各優勝チームと、Ⅲ部2位、高倉台女子Aと同3位雲中女子は下記日程で行われる第14回兵庫県少年大会に神戸市代表として出場する。

高倉台女子A、雲中女子も県少年大会へ出場

Ⅰ部決勝

東灘A 4 { 1-1 } 2 箕谷A
3-1

Ⅰ部の決勝は古豪、東灘Aと最近めきめき力をつけ準決勝で今年度全日本少年大会出場の神戸FC・Aを破った箕谷の戦いとなった。試合は東灘が先行したが、後半箕谷が2-1と逆転した。しかし、ゴール前のゆさぶりのうまい東灘はその後連続3得点し、4-2で箕谷を振り切った。まさにⅠ部の決勝戦にふさわしい好ゲームであった。

Ⅱ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える多井畑が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、多井畑はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

Ⅲ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える八多が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、八多はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

Ⅱ部決勝

多井畑D 2 { 1-0 } 0 神戸FC・D
1-0

Ⅲ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える八多が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、八多はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

Ⅲ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える八多が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、八多はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

Ⅲ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える八多が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、八多はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

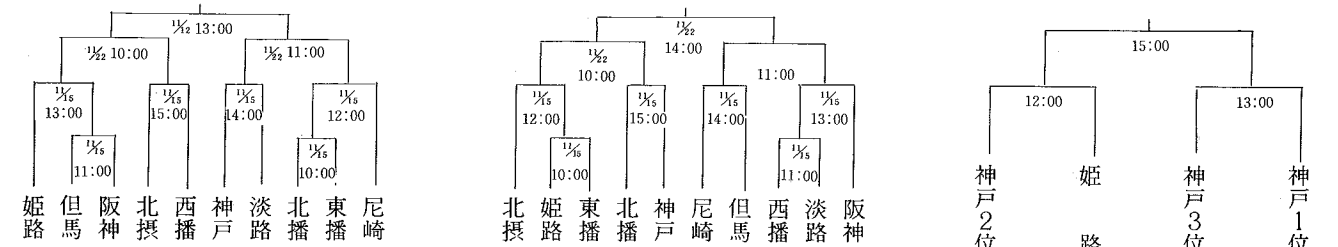
Ⅲ部の決勝は昨年と同じ対戦となったが、その雪辱に燃える八多が元気一杯に走り、神戸FCゴールを激しく攻めた。前半、八多はゴール前の混戦からチャンスをつかみ先取点を上げる。後半もCKから追加点を上げ神戸FCの反撃をかわして初優勝した。

第14回 兵庫県少年サッカー大会組み合わせ

〈1部=男子小6以下〉尼崎スポ・サブ

〈2部=男子小4以下〉尼崎、潮小学校

〈3部=女子〉尼崎、潮小学校



イの勝者
ハの勝者
ロの勝者
ニの勝者